

あつし塾長の

# 子のやる気 親の気づき

〇〇三



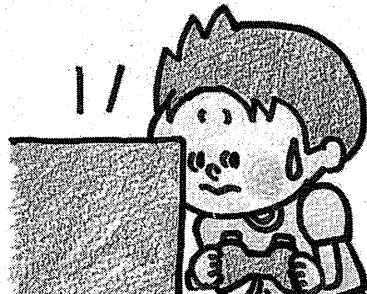
地元のラジオ局で「教育相談コーナー」を担当して10年になります。その関係もあって、塾にはさまざまな相談が寄せられます。先日、中3男子のお母様が相談に来られました。「クリスマスに、息子のリクエストで新発売のゲームを贈りま

## 自由と便利

した。ありがとう！と喜んでくれたのですが、翌日、お母さん、高く売れたよ！とうれしそうに言われて、私はビックリして言葉がなくて…と、そのお母様は寂しそうに話されました。「子どもたちの誕生日、クリスマスなど記念日には欠かさずプレゼントを贈ってききました。子どもの喜ぶ表情が楽しみでした。結婚し家庭を持ち、子どもが生まれ、

# お母さん、高く売れたよ

## 親の気持ちネットで転売



by yoriko

子どもには最高の親でありたいと考えて、頑張ってきました！とおっしゃいました。私は相談に来られたこのお母様に、「子育てに我慢の日を作っていますか？」とお話しさせて頂きました。「ストレスではなく我慢、辛抱です。頑張ることを説いて聞かすより、頑張れた経験を積ませたいですね。つらいけどやり抜いたよ！とお母さんが言ってくれたらいいかでしょう」と。

を受けて、私もやり場のない違和感を覚えました。インターネットが当たり前の時代とはいえ、慈しみを育てていくのは、親としてどうすればいいのでしょうか。親の気持ちをオークションで転売し、「高く売れた」とうれしそうに報告してくるという子どもたちの現状は見過ごせないのではないのでしょうか。ゆとり教育世代の子どもたちは「自由で便利」が当たり前のライフスタイルの中で成長し、自由と便利を区別する必要もなく日々過ごしているのかもしれない。(畑山篤志学塾塾長)

を願う手塩にかけた子育てが、成長とともに利便性やサービスに勘違いされていたとしたら、親としてどうすればいいのでしょうか。われわれ親の世代が子どものころは、まだまだ生活が不便で、家族も友達もみんなが我慢をし、工夫をし、助け合う経験の中で育ちました。今は、子育て・教育の中で、われわれ親の世代が意識して、「不便」を子どもに経験させなくてはならないのかもしれない。

## 教育

# ニュース なぜなに

リノ五輪はフィギュアスケート女子で優勝した荒川静香選手の名メダル1個でした。今回は夏、冬ふくめて7度も五輪に出場した橋本聖子さんが女性で初めて日本選手団長を務めます。目標は長野五輪の成績です。



フィギュアスケート女子でメダルが期待される浅田真央選手。09年12月、大附門真市の「なみはやドーム」



将棋棋士六名人と脳科塾健一朗さんの小学校を「別授業」を先生さんは何時して理解を深めるの大切さを

# 繰り返すことの 大切さを伝える